

日 校時 クラス	教科等	単元名・題材名
2月10日5校時 3年3組26名	理科	じしゃくのふしぎ (3/8時)
本時のねらい	磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解する。	
本時の 評価規準 ▶評価方法	(ア) 磁石を身の回りの物に近付けた時の様子を比較し、引き付けられる物と引きつけられない物があることに気が付き、実験結果を基に自分の考えを表現している。 〔▶ノート、実験の様子、話合いの様子〕	
展開	学習活動	★見取り ◇留意事項
問題の提示 ① 課題の設定 ② (10分)	1 前時に話し合って決定した問題と実験計画(解決方法)を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     どのようなものが、じしゃくに引きつけられるのか調べよう。                 </div>	◇問題、実験計画については、前時に児童が考えたものを黒板と電子黒板で可視化できるように掲示する。
集団解決 ③ (25分)	2 グループに分かれ、実験を行う。 〈考えられる主な活動〉 ・引き付けられた物、引き付けられなかった物をノートにメモする。 ・ロイロノートの付箋機能を使って分ける。  3 グループ毎に気が付いたことや疑問点をホワイトボードにまとめる。  4 グループ毎にたどり着いた答え(考えがまとまったところまででも可)や疑問点を発表する。  5 グループ毎の結果や考察を基に、結論をまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     鉄はじしゃくに引き付けられる。                 </div>	★磁石を調べる物に近付け、引き付けられる物と引き付けられない物があることに気付いているか。 ★引き付けられた物、引き付けられなかった物をノートにメモしたり、分けて置いたりするなど、比較できるようにしているか。 ★実験で得られた結果を基に、比較、考察し、自分の考えを表現しているか。(グループ、全体での様子から。)  ◇疑問点が児童の力でその場で解決できそうな場合は話し合わせる。解決に時間がかかりそうな場合は、本時で分かっていることをまとめたうえで、次回、追加で調べる時間をとる。  ◇多数のグループが「鉄」と分かっていた場合は、児童の言葉でまとめを行う。 ◇「鉄」が分かっていないグループが多ければ、実験に使った素材を調べる時間をとる。
価値の共有 ④ (5分)	6 自分の言葉でまとめる。	★他のグループの実験結果、考察も踏まえて、自分の考えをまとめることができているか。
振り返り ⑤ (5分)	7 振り返りを書く。(OPPシート)	◇「今日の学習で大切だと思ったこと」、「心に残ったこと」など振り返りの視点を示す。